

各社の提案概要

(別紙 1)

	活動の概要	活動の実施体制	活動の概略スケジュール
一般財団法人 セブン- イレブン 記念財団	<p>①横須賀市走水海岸や横浜海の公園でアマモの花枝を採取する。 ②採取した種子でアマモの苗床づくりを行う。 ③活動に合わせアマモ学習会を行い参加者への啓蒙を図る。 ④2013年11月にアマモの種まきを実施する。 ・実際の海中でのアマモ種まきは、NPO法人 海辺つくり研究会に依頼する。 ・参加者は小船で活動場所に行き、船上から指定場所に種を投入、ダイバーが砂にうずめる。 ・同時に水中のビデオカメラの映像を船上で観察する。 ・海辺つくり研究会と協働で定期的のアマモの成長の記録を撮影し、観察会を行う。 ⑤活動の状況は社内誌、グループ誌に掲載、グループ会社全体で共有する。</p>	<p>○申請、企画、募集、資金(一財) セブン-イレブン記念財団 ○企画、運営 NPO法人 海辺つくり研究会 ○協力 神奈川県水産技術センター 横浜市漁業協同組合</p>	<p>11/16 ・アマモの種まき</p>
株式会社 高千穂	<p>①アマモの育成及び観察学習会 ②アマモの種の採取または種の選別及び環境学習会 ③アマモの苗床づくり ④アマモの移植 ・実施にあたっては、NPO 法人海辺つくり研究会の協力のもと、一般市民及び学校・保育園関係者の参加者とともに、継続的かつ段階的にアマモ場の再生活動を行う。 ・特に、子供の参加を促し、興味を持って活動を継続できるように働きかけることで、家族や周りにもアマモ場の重要性の認識を高める。 ・イベント毎の記事を社のウェブサイト等に掲載する。</p>	<p>○活動企画・運営・責任(株)高千穂(社員及び協力業者) ○活動実施協力 NPO 法人海辺つくり研究会 ○アマモ育成協力・種子提供 柴漁協組合(予定)</p>	<p>10~11月 ・アマモの育成場所確保及び社員による観察会 11月~1月 ・アマモの観察学習会募集 1月~2月 ・アマモの観察学習会及び広報 2月~3月 ・アマモの観察学習会及び広報</p>
味の素 株式会社	<p>①アマモを種から育て、苗を植え付け、東京湾を再生するお手伝いをする。 ②従業員 & 家族、子供たちが参加することにより東京湾の自然・環境を学ぶ。 ③「味の素ならではの」活動を組み込む(例①苗作りにアミノ酸を使う等。詳細は今後検討) ④当社と関係のある企業(スーパー、コンビニ等)との共同作業、懇親。(詳細は今後検討) ・実施にあたっては、京浜地区を中心に社員希望者を募る。社員・従業員の自然環境学習の場にするとともに、社外との友好も深めながら東京湾を改善する活動の拡がりを実感する。 ・広報部等を通じて社内外PRを行う。</p>	<p>○社の環境改善活動である「Smile Earth!」の運営組織にUMIプロジェクト事務局を設置 ○アマモの育苗、植えつけについては専門家の援助を依頼。</p>	<p>10~3月 ・アマモの苗床、苗づくり(場所未定) 3月中 ・植えつけ ・自然観察教室 11月~1月 ・育苗にアミノ酸資材を使った実証実験</p>